

キャッチタンクキット取付要領書

適用型式：VC52～72シリーズ（設備用エンジンポンプシリーズを除く）

1. キット梱包内容（取付になる前にお確かめ下さい）

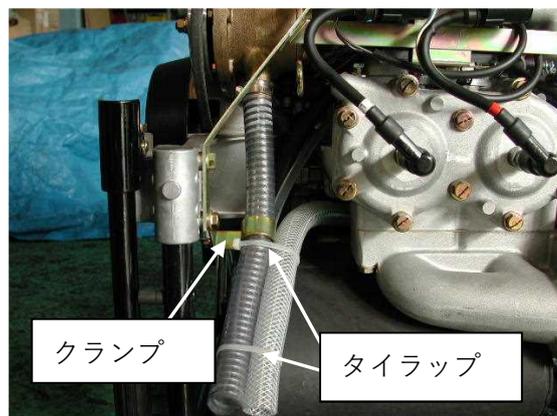
No.	部品名	個数
①	サポートプレートアッセンブリ	1式
②	ポット	1個
③	Uボルト	2個
④	ワッシャ	4個
⑤	ビニルパイプ（VP排水パイプ）	1本
⑥	ビニルパイプ（止水弁排水パイプ）	1本
⑦	クランプA	1個
⑧	クランプB	1個
⑨	タイラップ（VC200）	3本



2. 標準部品の取り外し

2.1 真空ポンプドレンパイプの取り外し

- ① 3本のドレンパイプを留めているタイラップ (2ヶ所) を切る。
- ② 真空ポンプドレンパイプを固定しているクランプを取り外す。
- ③ 真空ポンプ本体からホースクランプを緩め、ドレンパイプを外す。

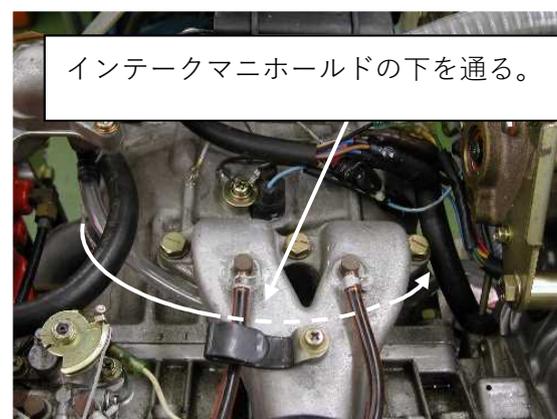


2.2 止水弁ドレンパイプの取り外し

- ① 右図に示すニップルより止水弁ドレンパイプを外す。



- ② 止水弁ドレンパイプは、インテークマニホールドの下を通り、真空ポンプドレンパイプと同じ位置までできています。フュエルタンクを外して、作業する事をお勧めします。



3. オプションキットの取付け

3.1 サポートプレートアセンブリの取付け

- ① サポートプレートアセンブリに開いている穴をダンパーラバーのボルト位置に合わせる。
- ② サポートプレートを2個のUボルトによって、フレームに固定する。



サポートプレートをUボルトで固定する。

3.2 クランプの取付け

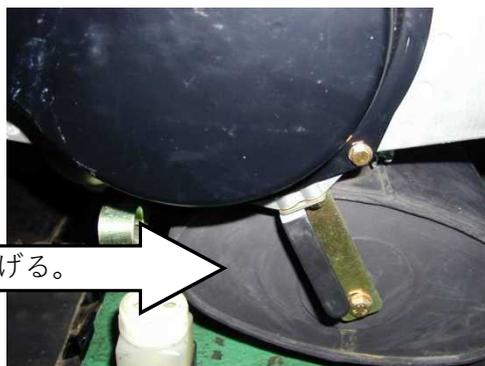
- ① クランプAをセルスタータの下側のボルトで共締めして固定する。



- ② クランプBをマフラスターのボルトで共締めして固定する。



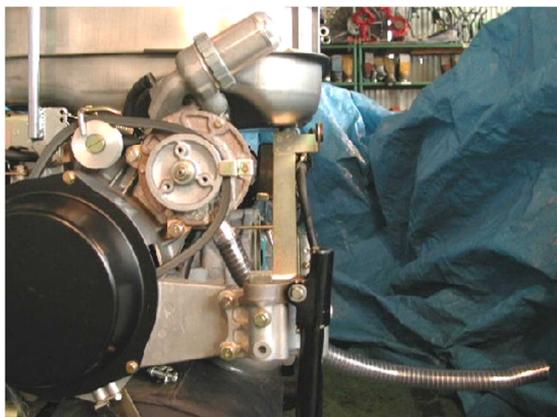
折り曲げる。



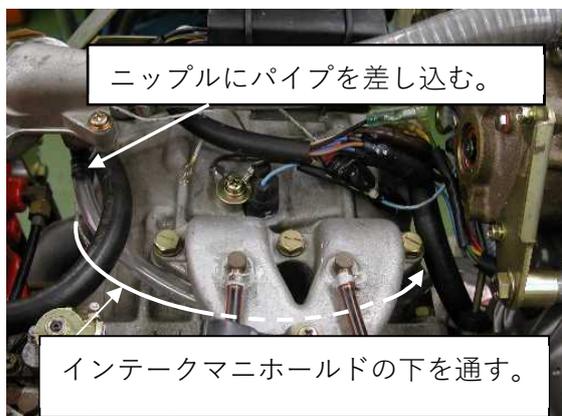
3.3 パイプの取り直し

真空ポンプドレンパイプと止水弁ドレンパイプをキャッチタンクまで取り直しを行います。

- ① 真空ポンプドレンパイプを取り付ける。その際、パイプの曲がりを外側に向けること。(ポット側に曲げたとき、先端が下向きになる。)



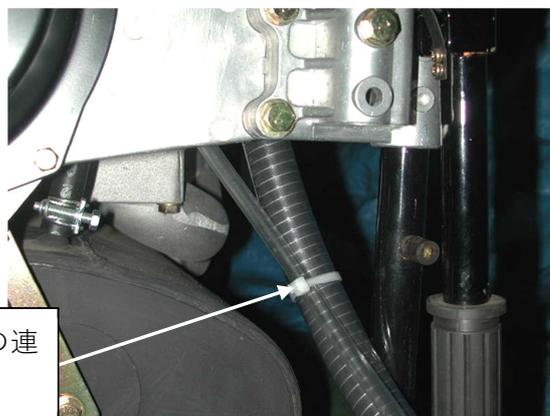
- ② 止水弁ドレンパイプを取付ける。取りまわしは下図参照。



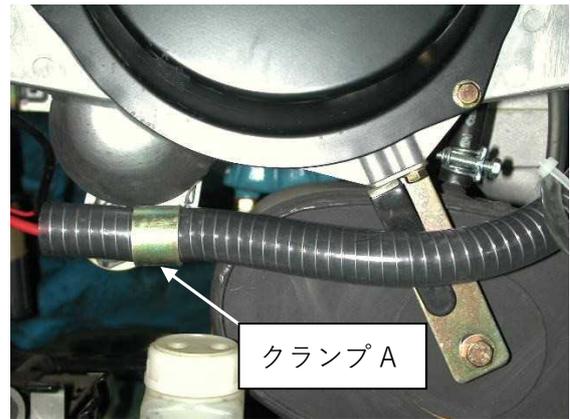
オイルゲージがあるので、シリンダと冷却水パイプの間を通す。

- ③ 真空ポンプドレンパイプと止水弁ドレンパイプの先端を揃え、先端から $220\sim 230\text{mm}^{*1}$ のところをタイラップで止める。

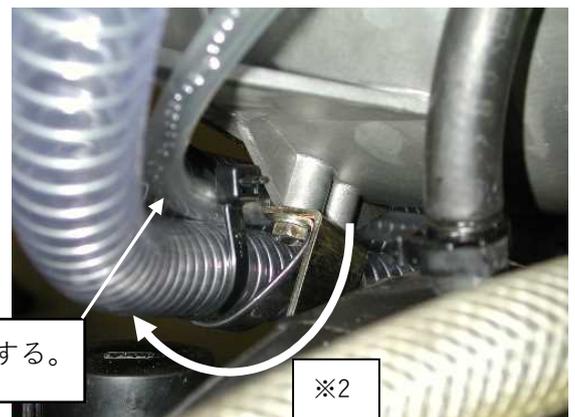
※1: この後のキャッチタンク側への取り直しの際、220mm 以下だとタイラップがマグネトケースに当り、230mm 以上だと止水弁オーバーフローパイプが折れ曲がる形となる。



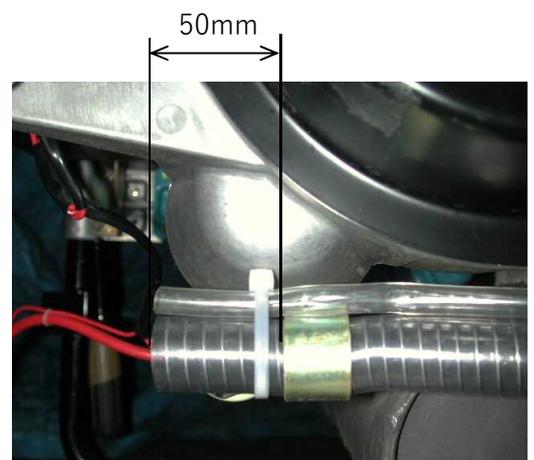
- ④ 真空ポンプドレンパイプをセルスタータ側のクランプAに通す。



- ⑤ 2本のパイプを持ち上げながら、マフラスター共締め部分のクランプBで真空ポンプドレンパイプを下から^{※2}固定する。



- ⑥ 2本のパイプをセルスタータ側クランプの先で タイラップで固定する。止め方は③と同様の方法とする。ホースの先端はクランプAから約50mm出すようにする。



⑦ パイプ類の調整

- (a) キャッチタンクをサポートプレートにセットする。
- (b) 2本のパイプがキャッチタンクの出し入れに支障が無いように調整を行ってください。ホースの先を長さ方向、上下方向で調整する。

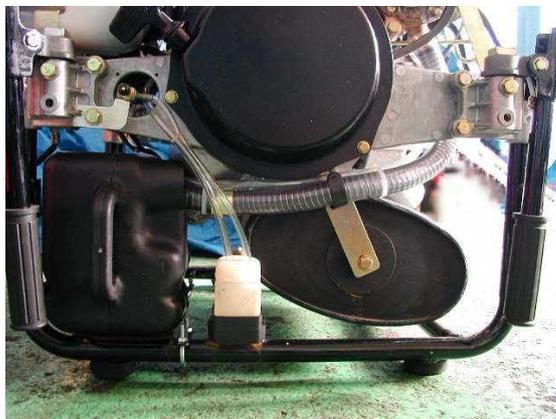


⑧ パイプの固定

- パイプと真空ポンプドレンパイプを図の位置で、タイラップにて固定する。



- ⑨ フュエルタンク、ドレンポットを外して作業を行った場合には、元どおりに戻して完成です。



1E0-31319-0